



社会福祉法人創和

創和便り



和を創りだす共同体

こころの病を 経験した人も してない人も
ともにたまものを 分かち合い 幸福と尊厳を とり戻そう

創和の作業所の1日の流れ紹介

満天工房

ミーティング
ラジオ体操
午前の作業



昼休憩

ミーティング
ラジオ体操
午後の作業



終了

9:00

12:00

13:00

15:30

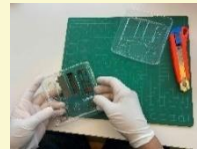
ユニット

朝のミーティング
午前の作業



昼休憩

15分清掃
ミーティング
午後の作業



終了

(作業によって前後します)

7月21日に家族会(写真下)

8月8日に嘱託医相談会(写真右)が行われました



行雲亭朝呂里先生の落語会

創和便り

創和の歴史

平成 7 年 地域ボランティアグループペゴニア会が中心となり、ダンボール加工所の一隅で作業開始
平成 9 年 小規模作業所「創和ユニット」スタート
平成 11 年 小規模作業所「U II ショップさきわい」開設
平成 14 年 社会福祉法人として認可される
平成 15 年 グループホーム「東町ホーム」開設
平成 17 年 小規模地域生活支援センター「つどい」開設
平成 19 年 「創和ユニット」が就労移行支援・就労継続支援 B 型事業所に移行する
平成 20 年 「U II ショップさきわい」が地域活動支援センター「さきわい」として新たに発足 入間市役所に「障害者相談支援事業所創和」開設
平成 21 年 入間市役所に「入間市障害者就労支援センター」開設
平成 23 年 地域活動支援センター「つどい」開設
平成 24 年 地域活動支援センター「いぶき」開設
令和 1 年 地域活動支援センター「さきわい」「いぶき」を閉所し、就労継続支援 B 型事業所「創和満天工房」開設

懐かしの写真たち



プレハブだった頃の創和ユニット



（貫井園にて）
原木シイタケの作業



野菜加工の作業
（浅見商店にて）



U II ショップさきわい

法人 10 年目の将来構想から 10 年

理事長 岩崎廣司

創和だよりは 2023 年に 100 号を迎えたこと際して改めて創和の歩んできた道のりを、私事で恐縮ですが振り返って、これからの創和が地域の中で答えるために何を目指していくべきか皆さんと考えていきたい。

法人 10 年目、2012 年に今後の法人のあり方について 80 歳を超えた松井理事長に答申を行い、新たな 10 年に向けて法人の組織を見直すとともに、時代や地域の要請に応える組織の再構築と運営について答申が行われた。

60 歳で定年後地域でのボランティア活動を開始して 10 年目で創和の理事として、地域での自立支援協議会に参加していた頃市内の他法人、入間市の障害福祉関係者とともに新たな地域での障害者相談支援の体制作りを検討していた。基幹相談支援センターは 2016 年に設立して市内の新しい相談支援体制が確立した。

法人 10 年目の年は、創和が新しく一歩踏み出した年で、地域活動支援センター「いぶき」が 3 ケ所目として新設し、又相談事業所が地域活動支援センター「つどい」と併設して開設して新たな創和の体制が発足した年でした。

その後、地域で安心して生活するための「はたらく」障害者支援の在り方も変化して障害者継続支援 B 型等の充実のため、創和も 2 か所の生活支援センターを閉所して新たな就労継続支援 B 型「満天工房」を支援者の協力を得てジョンソントウン隣接地に 2019 年に新設した。又、合わせて 2020 年に相談支援体制を強化するため「創和相談支援事業所」を併設して開設した。2021 年には飯能に購入していた民家を市民の交流と収益向上のため、ゲストハウスを併設したレストランむつみをスタートした。

コロナ禍の中で時代の変化に対応した福祉事業の充実と経営の安定化を求めた運営を行ってきたが、まだ未達の部分が多く、今後職員と共に課題の解決に向けて取り進めていきたい。

こんな BOSS はヤダ! No.65
今#956



編集後記

平成 7 年に社会福祉法人創和のもととなる地域ボランティアグループベゴニア会が誕生してから、今年度で創和は 28 年となります。その間、障がいのある方々が、地域の中で安心して生活できるように職員一同支援を続けてまいりました。そういつた 28 年の中で生まれた創和便りも早いもので今回は 100 号を迎えました。今回の記念号では、開設から創和の歴史を振り返りつつ、現在各事業所で行われている作業やイベントを通して、イキイキとしたメンバーさんの様子などをお届けできたらと作成を進めました。今創和に通所しているメンバーさんにも、これからの利用を検討している方々にも楽しんでいただけるお便りになっていければうれしいです。この 28 年の中で世の中も変わればメンバーさんも職員も変化をしております。今後もメンバーさんのニーズと社会貢献を意識した支援を職員一同心がけていきたいと思えます。

社会福祉法人 創和の事業

- ・就労継続支援 B 型事業所 創和ユニット
見学者募集中
入間市久保稲荷 1-27-4
TEL/FAX 04-2963-3927
厨房 TEL 04-2946-7855
- ・就労継続支援 B 型事業所 満天工房
入間市東町 1-10-3
TEL/FAX 04-2968-7341
- ・地域活動支援センター つどい
入間市豊岡 3-8-5 あたご坂ビル 201
TEL/FAX 04-2964-2117
- ・共同生活援助事業・自立生活援助事業
東町ホーム TEL 04-2965-0370

- ・相談支援事業所 創和
入間市東町 1-10-3
TEL 04-2946-9563
FAX 04-2968-7372
- ・入間市障害者就労支援センター りぼん
入間市役所 3 階 TEL 04-2964-1111 内 3202
FAX 04-2966-6791
- ・カフェ&レストラン、ゲストハウス むつみ
飯能市小久保 264-1
TEL 080-7566-6671
- ・法人本部
入間市久保稲荷 1-27-4
TEL/FAX 04-2965-9978

社会福祉法人 創和 財産目録(2023年3月31日現在)

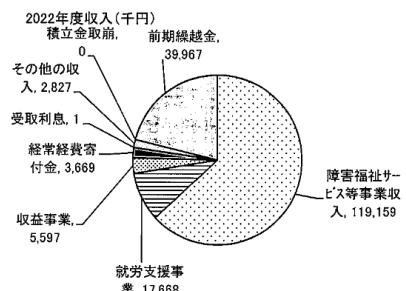
資産・負債の内訳		金額	備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	709,803	
普通預金	ゆうちょ銀行/埼玉りそな銀行/西武信用金庫/武蔵野銀行/飯能信用金庫	25,787,552	
未収金	障害福祉サービス給付費等	13,549,246	
その他の流動資産		4,400,000	
流動資産合計		44,446,601	
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金 武蔵野銀行 10,105,355			
建物	入間市久保福荷1-27-4 種類 作業所(288.94㎡)	61,651,972	
土地	入間市東町1-1083-163他一筆 地目 宅地(93.44㎡)	14,576,000	
建物	入間市東町1-1083-163 種類 居宅(65.41㎡)	1	
基本財産合計		86,333,328	
(2)その他の固定資産			
土地	飯能市大字小久保東田264-1他(915.72㎡)	20,073,000	
	入間市下藤沢403-28(112.29㎡)	14,000,000	
建物	飯能市大字小久保東田264-1(115.25㎡)	1,017,280	
	飯能市大字小久保東田264-1増築分(97.26㎡)	17,335,359	
建物	物置/プレハブ倉庫	2	
車両運搬具	車両番号(所沢480か7453/所沢480き6226/所沢400て4982/所沢430す2732)	416,254	
器具及び備品	厨房機器、会議テーブル、エアコン等	2,655,962	
その他の固定資産合計		55,497,857	
固定資産合計		141,831,185	
3 積立金			
(1)修繕積立金			
普通預金	埼玉りそな銀行	12,921,974	
(2)工賃変動積立金			
普通預金	西武信用金庫	1,470,001	
(3)設備等整備積立金			
普通預金	西武信用金庫	1,257,070	
積立金合計		15,649,045	
4 退職給付引当資産 (埼玉県社会福祉共助会預入)		13,349,864	
5 差入保証金(敷金)		16,000,000	
資産合計		231,276,695	
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	消費税等	368,000	
預り金	社会保険料、共助会費	1,879,538	
短期運営資金借入	(拠点区分間での借入)	4,400,000	
2 固定負債			
設備資金借入金		0	
退職給付引当金		13,349,864	
負債合計		19,997,402	
差引純資産		211,279,293	

2022年度 社会福祉法人 創和 決算報告(要旨)

法人全体の収入は、159,521千円となり、障害福祉サービス事業が全体収入の74.7%で、119,159千円になりました。収入には大型の寄付金もありました。感謝しています。

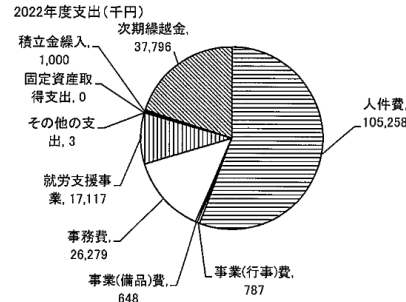
支出全体は、161,592千円で、収支はほぼマイナス2,071千円になりました。障害福祉サービス事業収入が減額となり、経費の削減努力もありましたが、人件費が増額したこと等から年度内収支は赤字になりました。

令和5年度には、創和ユニット、満天工場の体制見直しを回り、利用者増につなげたいと考えております。また、グループホームに関しては、利用者退去後の空きをできるだけ短期間になるように努力致します。



支出全体に占める人件費は、65.2%で105,258千円でした。

今年度もコロナの影響で利用者行事を控えざるを得ませんでしたが、令和5年度は日常が戻り、利用者の笑顔が多く見られるようになっております。

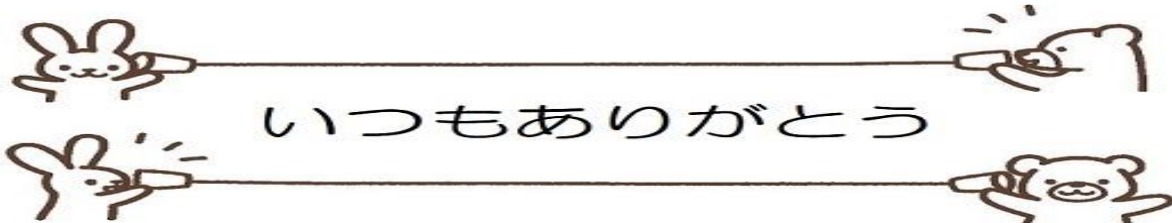


法人全体の貸借対照表を下段に、財産目録を裏面に掲載しました。

尚、社会福祉充実残高については、マイナス57,570千円となることから社会福祉充実計画を策定しないこととなりました。

貸借対照表

勘定科目	金額(千円)	勘定科目	金額(千円)
I 資産の部		II 負債の部	
流動資産	44,443	流動負債	6,647
現金	710	未払金	368
預金	25,784	預り金	1,879
未収金	13,549	その他の流動負債	4,400
その他の流動資産	4,400		
固定資産	186,830	固定負債	13,350
(1)基本財産	86,333	設備資金借入金	0
特定預金	10,105	長期運営資金借入金	0
土地・建物	76,228	退職給付引当金	13,350
(2)その他の固定資産	100,497		
土地	34,073	負債の部合計	19,997
建物	18,353	III 純資産の部	
車両運搬具	416	基本金	10,105
器具及び備品	2,658	国庫補助金特別積立金	46,314
積立金預金	15,649	その他の積立金	15,649
退職給付引当金	13,350	次期繰越活動収支差額	139,208
差入保証金	16,000	(内当期活動収支差額)	▲5,242
資産の部合計	231,273	純資産の部合計	211,276
		負債及び純資産の合計	231,273



後援会費及び一般寄付のご報告

※ 皆様の温かいご協力に感謝いたします 大切に使用させていただきます ※

令和5年4月26日～令和5年8月25日

この間に28名の方と病院様からの寄付金・後援会費などで、158,000円、他に多数の方々から寄付品等のご協力をいただきました。ご協力いただいた方々のお名前を掲載させていただきます。

*小川薫、山田哲史、小田レイ子、待寺俊治、今成敦子、吉川晃寿、土屋邦充、重盛宏仁、小澤恵子、殿塚正雄、柳沢加代子、村田恵三、鈴木正敏、橋本透、小川祐子、塩田恵、大淵優香、中山みどり、倉持トシ子、清水義昭、河成海、島村洋子、金平里美、山本孝恵、小林輝子、湊ひで子、平井クリニック、(匿名) (順不同、敬称略)

— 寄付金を募集しています —

※ 寄付金など、常時募集していますので、皆様の温かいご援助をお願いします ※

後援会・寄付の振込先口座：ゆうちょ銀行 00160-2-591708

他銀行からの振込：ゆうちょ銀行 ゼロイチキョウ店 当座預金 0591708

銀行振込は、埼玉りそな銀行 入間支店 普通口座 4005748

(シャカイフクシホウジンソウワリジチョウイワサキヒロシ)

寄付金は税金控除の対象になりますので、寄付の際は領収書をご請求してください。

100号記念



創和に入った当時の思い出

相談創和 長嶋

(平成 18 年入職)

私が創和に就職した当時は今の職員より半数以下くらいだったと思います。利用者さんと一緒に草刈りや、野菜加工の作業をしたり、仕事が終わった後に、よく先輩職員と仕事について共有していたことを覚えています。現在の仕事はそのころの経験が基本となっていると思います。



本部 細井 (平成 15 年入職)

創和との出会い

創和に初めて出会ったのは、平成 14 年 12 月に仕事を探しに行った時でした。電機メーカーで長いことモノ作りに関わってきましたが、今後の人生を考え、人に関わる仕事がしたいと創和にきました。

そこで出会ったのが初代理事長松井さんです。初めての印象はバイタリティのあるすごいお婆さんがいるなあーでした。

当時は金がないが、夢がありました。作業場はプレハブ小屋の創和ユニットとトタン屋根の作業場の UⅡ ショップさきわいでした。本部は今のジョンソントウンの一角でただで借りていた古い建物です。そこでメンバーのために何ができるのか松井さんと議論したことが懐かしく思い出します。あれから 20 年経ち福祉の世界は制度が大きく変わってきましたが、本当の意味で良くなって来ているのか、まだまだ声を上げなければならないと感じています。



満天工房 渡辺 (平成 21 年入職)

私は、前職を 43 年間勤め 2008 年末で退職し休養を取るつもりでいましたが、細井さんの紹介で創和のプレハブ事務所で松井さんと約 2 時間強の面談し、熱く支援業務の大切さを語られて法人業務の支援してほしい依頼がありました。当初 10 月頃からの予定を 1 月からボランティアで 4 月からは職員として支援に加わる事になり現在に至っています。



満天工房 安藤 (平成 11 年入職)

私が初めて創和を訪れた時、もともとは八百屋だったという建物は、「野菜安売り」と書いてある看板もそのままに活動していました。「ここ、大丈夫かなあ」という気持ちでドアを開けると、ギターを弾いている人、みんなとおしゃべりを楽しんでいる人、横になっている人、コーヒーを飲んでいる人、それぞれが各々の過ごし方をしていて、外見からは想像もつかないあたたかい空間がありました。当時、「こんなサービスがあればいいな」と思っていたものが制度化され、私たちを取り巻く環境も変化していますが、創和らしさを追求して前へ進んでいきたいと思えます。



むつみの家 原田 (平成 17 年入職)

創和便り 100 回おめでとうございます。

私は創和にお世話になり 18 年、友人を介して初代理事長の松井さんよりお弁当を作ってほしいと依頼され入社しました。今、ユニットで作っているお弁当の始まりです。調理器具も揃っていない場所で試行錯誤しながら、創和だけでなく、外の人にも利用していただく様になりました。

又、松井さんが苦勞して創和を大きくしたい気持ちが仕事をする内にひしひしと感じ何とか少しでも手助けできればと、職員と協力して創和祭を立ち上げたり色々挑戦しました。

当時は皆で協力する事が当たり前でしたが今は、施設間での助け合いが少なくなっている様に見えるので、是非協力して益々創和を大きくして下さい。



11/25(土)

創和祭

当日限り有効



先着 100 名様
飲み物
引き換え券



11月25日(土) 10:00~
会場: 創和ユニット

今年度は飲食と建物内での催しが再開します！
建物内ではなるべくマスクの着用をお願いいたします。